

情報監視審査会会長
参議院議員・薬剤師
藤井 基之

令和3年度予算案

令和3年度政府予算案は、昨年12月21日に閣議決定されました。令和3年度一般会計の歳出総額は、前年度当初予算より3兆9517億円増の106兆6097億円と過去最大規模となりました。また、先に決定した、歳出総額19兆1761億円の令和2年度第3次補正予算案と合わせ、いわゆる15ヶ月予算として、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に万全を期すとともに、デジタル社会・クリーン社会の実現や全世代型社会保障制度の構築等の中長期的な課題にも対応するものとなっています。

厚生労働省の一般会計予算総額は33兆1380億円となり、前年度当初予算に比べて1515億円の増額となっています。このうち、社会保障関係費が32兆7928億円と、その大部分を占めています。令和3年度の介護報酬改定は+0.70%（国費196億円）、障害福祉サービス等報酬改定は+0.56%（国費86億円）と、それぞれプラス改定となりました。他方、毎年の薬価改定の実施により、乖離率5%を超える品目を対象に国費で1001億円を引下げることとなり、今回も社会保障費の抑制財源を薬業界が負うところとなりました。

医薬関係では、医薬品等の輸入確認手続きオンライン化や「妊娠と薬情報センター」の高度化等、ポストコロナ時代を見据えた対応に新規7億円を計上した他、医薬品・医療機器等の迅速な提供及び安全対策の推進、薬剤師薬局の機能強化等、予算総額93億9千万円となっています。なお、令和4年夏の運用開始予定の処方箋の電子化に向けたシステム構築の事業費、38億円は補正予算案に計上されています。

令和2年度補正予算案及び令和3年度予算案は、1月中旬に召集予定の通常国会において審議されます。1日も早い予算成立に向けて尽力して参りたいと思います。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>